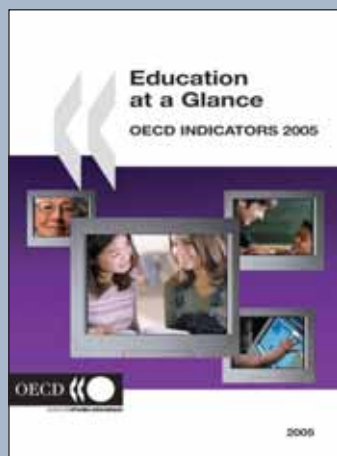


# DID YOU KNOW?

OECD加盟国の半数以上の若者が生涯のうちに大学レベルの教育を受けることになる



September 2005  
436 pages  
€ 58/ \$73/ £40/ ¥ 7 900  
ISBN: 92-64-01190-0

## Education at a Glance

OECD INDICATORS 2005

2005年版Education at a Glance: OECD Indicatorsは教育制度の実績について、豊富で国際比較可能な一連の最新指標を収録しています。指標を基に、国際的に教育の現状を測る方法について専門家の一致した考え方が示されています。

指標は、教育の参加者は誰か、教育に何が費やされているのか、教育制度はどのように運営されているのか、そしてその成果を考察しています。成果の内容には、主要教科における生徒の成績の比較から、教育が収入や成人の雇用機会に及ぼす影響まで、幅広い成果が含まれています。

StatLink機能により、本書掲載の表やグラフを作成する際に用いられたデータを、エクセルファイルでダウンロードすることができるようになっています。

### NEW TO THIS EDITION

- OECD PISA2003学力テストの結果 (一部)
- 学歴別の個人の所得配分
- 教育の非経済的な成果
- 労働者の継続的な教育やトレーニングへの参加
- 放課後の学生の学習時間
- 公立学校と私立学校の成績の違い
- 生徒に差をつける中等教育制度の政策と実践とそれが成績に及ぼす影響

- > OECD加盟地域の現在の5歳児は、人生の中で16~21年間の教育を受けられると一般的に考えられる。
- > 女子生徒は男子生徒に比べ急速な確率で後期中等教育と高等教育を修了しているが、未だ数学と科学を学習する割合が低い。
- > OECD加盟国における外国人留学生の受入は、2002年から2003年の間に11.5%増加した。
- > 高等教育の資金の半分以上が、オーストラリア、日本、韓国、米国では民間部門を資金源としているのに対し、デンマーク、フィンランド、ギリシア、ノルウェーでは5%である。

OECD オンラインブックショップ: [www.oecdbookshop.org](http://www.oecdbookshop.org)

SourceOECDをご購読いただいている方は直接アクセスできます。

[www.sourceoecd.org/9264011900](http://www.sourceoecd.org/9264011900)

お問い合わせ

OECD東京センター 〒100-0011東京都千代田区内幸町2-2-1日本プレスセンタービル3階

Tel.: 03-5532-0021 Fax: 03-5532-0035 E-mail: [tokyo.contact@oecd.org](mailto:tokyo.contact@oecd.org)



OECD PUBLISHING